



125年の長い歴史の中で培ってきた
「断つ・保つ」®の技術を活かして、
社会的な責任を果たし、
地球の明るい未来に貢献します。

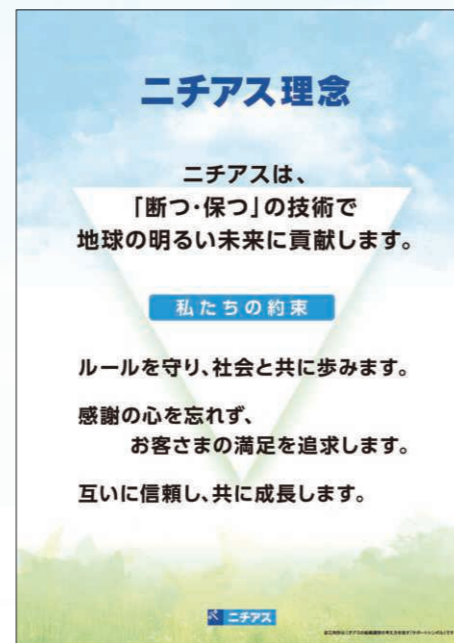
代表取締役社長 武井 俊之

「断つ・保つ」®技術と共に歩み続けるニチアスグループ

当社グループの企業理念であるニチアス理念は、「ニチアスは『断つ・保つ』の技術で地球の明るい未来に貢献します」と掲げています。当社は1896年(明治29年)に我が国における保温・保冷分野のパイオニアとして創業し、当社独自の技術である「断つ・保つ」の技術を125年の歴史のなかで深化させ今日にいたりました。

「断つ・保つ」の技術は、漏れを「断つ」、熱を「断つ・保つ」、音・振動を「断つ」、火を「断つ」、腐食を「断つ」、クリーンを「保つ」という6つの技術から成り立っており、私たちの生活や社会になくしてはならない技術です。

ニチアス理念では、これらの技術を活かした製品・サービスを提供することを通じてさまざまな分野で貢献し、社会から必要とされる企業であること、ひいては明るい未来に向けて成長し続け、持続的に貢献することを誓っています。



ニチアス理念

外部環境や社会課題におけるニチアスグループの役割

2020年初頭から新型コロナウイルス感染症の猛威が世界を震撼させ、現在もお収束の兆しが見えません。

ウイルス感染症でお亡くなりになられた方々のご冥福を申し上げますとともに、今日もお治療を受けている方に心よりお見舞い申し上げます。また現在も医療現場を支える方々に心より敬意を表します。

このような状況のもと、当社グループの製品・サービスは国内外の産業やインフラ設備などの社会基盤を根底から支えており、製品・サービスを確実に供給することが当社グループの社会的責任であると考えています。

従業員含め徹底したコロナ対策のもとその役割を全うしてまいります。

また、昨今世界各国でハリケーンや豪雨などの自然災害があつとを絶ちません。

このような災害の要因の一つである地球温暖化への対策は待ったなしの急務であると捉えています。当社グループ内での対策はもちろんのこと、「断つ・保つ」の技術は、さまざまな分野で地球温暖化防止に貢献する役割を担っています。

持続可能な社会の実現を目指した脱炭素に向けた取り組み

当社グループでは、地球温暖化の原因である二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの発生および排出を削減することは重要な企業の社会的責任であり、この取り組みを積極的に進めることで、サステナビリティ経営に寄与し、企業の持続的成長を実現するものと考えています。

これらを踏まえ本年4月に「ニチアスグループカーボンニュートラル宣言」を発表し、全事業場が排出する二酸化炭素排出量を2050年までに実質ゼロとすることを宣言いたしました。

ました。

今後は、脱炭素につながるものづくりへの転換、グループ全事業場での省エネルギーのさらなる推進、太陽光をはじめとする再生可能エネルギーの積極的活動を重点施策として、脱炭素の実現に邁進します。

また、当社グループは地球温暖化防止だけでなく、さまざまな環境問題に対応し持続可能な社会の実現を目指してまいります。

持続的な成長はステークホルダーの人権と従業員の健康の確保から

当社グループが持続的に成長し続けるためには、関係するステークホルダーの人権が守られないといけません。これを実現するため、昨年2月当社グループにかかわる全てのステークホルダーの人権への基本的な考え方を明示した「ニチアスグループ人権方針」を制定しました。

また、従業員の健康と安全は企業活動の基盤となりますので、従業員が健康で生き生きと働けるよう、本年4月に「ニチアスグループ健康経営宣言」を発表しました。

これらを推進することにより、当社グループは持続的に成長し続けます。

さらに、当社グループでは2015年から、グループ全体の改善活動であるNKK(ニチアス改善活動)に取り組んでいます。

この活動で得られた成果を働き方改革や業務改善につなげ、かねてから掲げている「働きやすい明るい会社」「ありがとうがあふれる会社」を達成し、ニチアス理念の実現に向けて歩んでまいります。

2020年度のCSR活動の成果をステークホルダーのみなさまにご報告いたします。

本レポートをご一読いただき、当社グループの理解の一助となれば幸いです。

ニチアスグループカーボンニュートラル宣言

ニチアスグループ健康経営宣言

ニチアスグループ人権方針

各宣言・方針の内容はQRコードよりご参照ください。